故事成語テスト③【もとの話えらび】

もとになった話を、4つの中から選ぼう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

故事成語のもとになった話を、ア～エから一つずつ選びましょう。
選んだ記号を左の□に書きましょう。長い文なので、最後まで読んでから選びましょう。

(1)　「汗馬の労」のもとになった話はどれですか？

ア　晋の文公が、亡命に従った家臣への褒美の基準を、仁義や人徳の者を第一、戦場で駆け回った者をその次と答えた話
イ　蘇武が、匈奴に捕らえられても節を曲げず、十九年のあいだ北の地で雪と氷の中、羊を飼って耐え抜いた話
ウ　司馬遷が、皇帝の怒りに触れて死刑を宣告されながら、史記を完成させるために死刑でなく宮刑を選んだ話
エ　趙の藺相如が、秦王の前で宝石を手にして柱を背に立ち、怒りで髪が冠を突き上げるほどの気迫を見せて守り抜いた話

□

(2)　「助長」のもとになった話はどれですか？

ア　楚の国の商人が、どんな盾も突き通す矛とどんな矛も防ぐ盾を売り、客の問いに答えられなくなった話
イ　シギとハマグリが争っているうちに、通りかかった漁師にまとめて捕まえられてしまった話
ウ　宋の国の人が、苗の伸びが遅いのを心配して引っ張って伸ばしたところ、苗が枯れてしまった話
エ　杞の国の人が、天が落ちてくるのではないかと心配して、食事も眠ることもできなくなった話

□

(3)　「臍をかむ」のもとになった話はどれですか？

ア　シギとハマグリが争っているうちに、通りかかった漁師が両方とも捕らえてしまった話
イ　鄧の君主が家臣の進言を聞かずに楚の王をもてなし、のち鄧が楚に滅ぼされた話
ウ　賈島が、詩の一字を「推す」にするか「敲く」にするかで迷い、韓愈に相談した話
エ　楚の商人が、どんな盾も突き通す矛と、どんな矛も防ぐ盾を売ろうとした話

□

(4)　「鶏口となるとも牛後となるなかれ」のもとになった話はどれですか？

ア　西晋の左思が十年かけて書いた作品が評判になり、人々が競って書き写した話
イ　戦国時代、蘇秦が韓王に、大国の秦に従うより小国の長となるほうがよいと説いた話
ウ　孟子の母が、学問を途中でやめて帰った子の前で、織りかけの布を断ち切ってさとした話
エ　後漢の陳寔が、天井裏にかくれた泥棒に気づき、子どもたちへの説教にことよせてさとした話

□

(5)　「苦肉の策」のもとになった話はどれですか？

ア　宋の農夫が、畑の苗を早く育てようとして一本ずつ引っ張り上げ、すべて枯らしてしまった話
イ　漢の韓信が、まだ無名だった若いころ、町の若者にからまれ、悔しさをこらえてその股の下をくぐった話
ウ　赤壁の戦いで、周瑜に打たれた黄蓋が、恨んで寝返るふりをして曹操軍に近づき、船に火を放った話
エ　楚の項羽が、漢軍に城を囲まれた夜、四方から楚の歌が聞こえて故郷の者もみな敵に下ったかと驚いた話

□

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「故事成語テスト」のプリント一覧がひらきます

故事成語テスト③【もとの話えらび】【こたえ】

もとになった話を、4つの中から選ぼう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

故事成語のもとになった話を、ア～エから一つずつ選びましょう。
選んだ記号を左の□に書きましょう。長い文なので、最後まで読んでから選びましょう。

(1)　「汗馬の労」

ア

「汗馬の労」は、晋の文公が亡命に従った家臣への褒美の基準を問われ、仁義や人徳で貢献した者を第一、戦場で馬に汗をかかせて駆け回った者をその次と答えた話（『史記』晋世家）から生まれたことばです。意味は「戦場で活躍した功績。転じて、物事をまとめようとして、かけずりまわってする苦労」です。

(2)　「助長」

ウ

「助長」は、宋の国の人が、苗の伸びが遅いのを心配して引っ張って伸ばしたところ、苗が枯れてしまったという話から生まれたことばです。意味は「成長させようと無理に手助けをして、かえって害を与えること」です。

(3)　「臍をかむ」

イ

「臍をかむ」は、鄧の君主が家臣の進言を聞かずに楚の王をもてなし、のち鄧が楚に滅ぼされたという話から生まれたことばです。意味は「もう終わったことについて後悔すること」です。

(4)　「鶏口となるとも牛後となるなかれ」

イ

「鶏口となるとも牛後となるなかれ」は、戦国時代、蘇秦が秦への対抗同盟に消極的だった韓王を説得したときのことばから生まれたことばです。意味は「大きな集団の末端にいるより、小さな集団でトップに立つほうがよい」です。

(5)　「苦肉の策」

ウ

「苦肉の策」は、『三国志演義』の赤壁の戦いで、呉の周瑜に打ち据えられた黄蓋が、恨んで曹操軍に寝返るふりをして近づき、火を放って船を焼き払ったという話から生まれたことばです。意味は「苦しまぎれに考え出した方策」です。

おうちの方へ

丸つけ: 記号が合っていれば〇です。答え面の解説は、その話から生まれたことばの意味の説明も兼ねています。

声かけ: 「だれが、何をした話か」を一言で言わせてから選ばせると、似た登場人物の別の話と取りちがえにくくなります。

つづき: 意味ともとになった話は、いちごドリルの「故事成語一覧」でも調べられます。